

学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.196

(財)日本学校保健会

生涯を通じて、豊かな心を持ち
たくましく生きる子どもの育成
—学校・家庭・地域の連携をとおして—

第43回全国学校保健研究大会の主題
(平成5年度 大分県)

8020運動と歯科保健



(財)日本学校保健会 副会長 加藤 増 夫

近時、学校歯科保健関係者のご尽力により児童生徒のう歯罹患率・未処置歯率など徐々ではありますが効率を挙げてきました。

しかしながら1981年WHO採決の“2000年までの歯科保健目標”の数値には達せず、欧米工業先進国はフッ化物利用もあってか、すでにこの数値をクリアしている時、文部省も昭和53年発刊の「小学校 歯の保健指導の手引」の改訂版を昨年発刊しました。さらに今回の学習指導要領の改訂に沿った保健の授業が、昨年小学校、本年中学校、来年高考で行われます。

昭和53年以来、文部省のむし歯予防推進指定校の実施充実化、日本学校保健会委託の「歯・口の健康づくり」の推進運動と、日本学校歯科医会も年間歯科保健計画を作成し、学校・地域・家庭の連携強化による展開のための研修を続けています。

8020運動の基盤ともなる学校歯科保健の前進のため、関係機関並びに関係者各位の絶大なご支援ご協力を心より切望致します。



横浜市立保土ヶ谷中学校 3年 新井 尚子 さんの作品

目 次

小学校における 歯の保健指導の充実……	2
学校における 歯科保健指導……	3
小学校における 歯みがき指導……	4
Q&A 口臭の原因と予防…	5
北から南から 岡山県・長野県……	6
保健会だより エイズに関する指導の手引…	7

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

小学校における歯の保健指導の充実

文部省体育局体育官 猪 股 俊 二

1. 「歯の保健指導の手引」の改訂

学校保健統計結果をみるまでもなく児童生徒の歯・口の状態は改善されてきているとはいえ、必ずしも良好な状態とはいいがたい状況にある。児童生徒の歯・口に関する疾病・異常をみると、学校保健統計では、う歯り患率は漸減傾向を示しているが依然として高く、さらに歯周疾患、不正咬合、斑状歯、要注意歯を取りまとめた「その他の歯疾」が漸増している。成人に達する早い時期に歯を喪失する原因が歯周疾患とう歯にあることから、ライフステージの観点にたつて児童（生徒）の時期に歯・口の健康に関する科学的理解と生活技能を培うことが急務となってきた。

WHOが提唱している歯科保健目標は生涯を通じて歯・口の健康保持に個人としての努力を求め、結果として国家レベルでの到達目標になっていることを再評価しながら、児童期におけるトータルヘルス⁽¹⁾の確立こそ将来の学校保健の基盤となることを踏まえて「小学校における歯の保健指導の手引」を改訂し学校歯科保健の充実を図ったのである。

特にWHOが設定した歯科目標はDMF⁽²⁾の改善が中心になっているが、当面の課題としてこれら目標に関して関係者に周知し教育活動として展開する必要がある。参考までに目標を例示してみると

1. 5～6歳のむし歯のない児童を50%以上にする。
2. 12歳児の一人平均DMF歯数を3以下にする
3. 18歳の85%の者が全永久歯を保有する

2. 歯・口の健康づくりの意義

一方不規則な食事時間やアンバランスな食事内容、軟食傾向の嗜好変化など食生活の軽視、不規則的な生活リズムを含めた生活習慣、運動不足の顕在化など生活の仕方の変化は歯・口の発育・発達の直接的・間接的な阻害要因となって、児童の咀嚼機能の不全、顎発育不全、顎関節症など咬合の問題を新たに生じさせてきている。これらの状況を改善する上で歯・口に関する保健指導は、これらの問題を改善するだけでなく、生涯を通じて健康な生き方を実践していく基礎となることから、その学習と実践を通して児童が歯・口の健康に関する的確な判断と適切な行動を選択できる能力を育成する必要がある、このことが当面の小学校の歯科保健の課題といえる。

3. 具体的な実践

1) 問題解決型学習の深化

小学校において具体的に実践する上で手引の改訂

の趣旨を踏まえ発展させることが望まれる。現実の歯科問題となっている小学生の歯・口の発育過程、咀嚼、むし歯の原因や歯肉の病気とその予防について歯科学の最近の知見を取入れながら、小学生の生活実態に基づいて学習させ、特に、歯肉に起こる病気を一括して歯周疾患として、その疾患の原因と予防を小学生高学年の学級担任が指導する際、理解しておかなければならない基礎理論について理解を深める必要がある。学校歯科医の助言を受けて指導内容をふくらませることが肝要であろう。

また、むし歯及び歯周疾患の予防として「歯みがき」の意義を理解させ、具体的に歯みがきの学習を「問題解決学習」と位置付けして、画一的な方法によるみがき方を習得させるのではなく、自分の「歯並び」に合った歯磨きの方法を発見し、工夫し、解決していく過程を重視して学習させることである。この学習過程は生涯を通して健康な生活の基礎づくりになるからである。

2) 歯の保健指導における組織活動

児童の歯・口の健康づくりを充実していくためには、家庭生活における好ましい態度や習慣の形成を強化することが不可欠である。家庭における食生活において食物繊維の多い食べ物、小魚などの摂取、咀嚼の習慣化はむし歯や歯周疾患の予防の上で不可欠なことだけでなく、歯・口の健康、さらに全身的な健康づくりにとって、家庭の食生活で歯・口に関する習慣化が重要であることを啓発し家庭の協力を促す必要がある。そのため保健所・歯科関係団体・PTA組織など、地域にある資源を活用する学校システムを確立し、家庭の教育力の向上を組織的に推進しなければならない。

註 (1) トータル・ヘルス 医学的な面だけでなく、家庭や社会環境を含めて、全人的な保健、衛生を考えた健康状態。

(2) DMF

D: (Decayed teeth の頭文字) むしばで未処置の永久歯

M: (Missing teeth の頭文字) むしばが原因で抜歯した永久歯

F: (Filled teeth の頭文字) むしばの処置を完了した永久歯

ある集団 (たとえば 学年、学級) の1人平均むし歯保有数を表わす数値を <DMFT 指数> といいます。

$$DMFT = \frac{\text{被検者全員の DMF 歯の合計数}}{\text{被検者数}}$$

(T は歯: Teeth の頭文字)

【表紙ポスターについて】

表紙の写真は口腔保健に関する理解と認識を高める目的で、日本学校歯科医会が全国の小、中学校より「歯科保健に関する図画ポスターコンクール」に応募された133点の内、最優秀に選ばれた作品です。作者: 横浜市立保土ヶ谷中学校 3年 新井 尚子さんです。

学校における歯科保健指導

日本大学松戸歯学部 教授 森 本 基

WHO 口腔保健部長 Barmes 博士の驚き

昭和53年に文部省から「小学校 歯の保健指導の手引」が出された。これによって今日までむし歯予防推進指定校による研究活動が続けられてきている。この活動の成果は、全く予測できなかった程の前進であり、まさに変革の語に価するものがある。

平成3年の秋、WHOの口腔保健部長Barmes博士が仙台市の小学校で、歯科保健指導の公開授業に参加する機会があった。学級担任の保健指導を見て、言葉は理解できないものの、あのような専門的にみても高度な内容の保健指導ができるのか考えてもみなかったと驚嘆の声を発していた。日本の教育の素晴らしさの一端を垣間見ることができたと喜んでいった。

われわれも、小学校における歯の保健指導の進歩をここで再確認して、ますます今後の発展に努力することが肝心である。

「8020運動」の達成を旨として

日本の高齢化は、他に例をみない速さで進んでいる。平均寿命の延長に従って多くの事柄は何とか追従してきているのであるが、歯の寿命は全くこれに沿ってはいない。高齢者の食べる喜びは他のいかなることより大きく、健康で長生きするための必須条件でもある。

そこでわが国では「80歳になった時に自分の歯を20本保有して、何でもバリバリ食べよう」という「8020(ハチマルニイマル)運動」を始めている。

現実に80歳で20歯を保有することは容易なことではないが、到達目標としては重要な意味をもっている。永久歯列の形成が6歳で始まり、ほぼ12歳で完成するということは、それから70年間を丈夫で長もちさせなければならないのであるから、この目標達成は学校歯科保健の重要課題であると同時に、この間の保健指導の果たす役割も極めて大きいのである。

小学校保健の中に位置づけられた「むし歯」を考えてみても、毎日毎日の生活の中できちんと守られてこそ歯の平均寿命を人の平均寿命に一致させられることが可能となるのである。

噛むことの大事さ

20本の歯を保有することの提案は、何でも十分に食べられるということから出されたものであり、楽しく食べられることの基本条件なのである。

よく噛むこと、楽しく食事することは、有効に消化吸収を高め、食物の摂取量も減らすことができ、肥満防止をはじめ糖尿病患者の日常生活を含めて大事な基本行動である。正しく噛むこと、咀嚼指導も生活の基本的習慣として保健指導の中に自づと組込まれることになるはずである。

美しい歯並び、美しい発音

美しい歯並びの笑顔は人の心を楽しく明るくしてくれる。最近の母親は子供の歯並びについて関心が非常に高くなってきている。乳歯から永久歯の交換期(主に小学校時代)に家庭でも観察を続けてくれるようになったことは、学校での歯の保健指導の成果として評価できる。まさに、このことは学校と家庭との連携によってこそ完成できる。

この乳歯から永久歯の交換期は正しい発音を習得する大切な時期である。

顎の形態も安定し歯並びもきちんとした中ではじめて正しく美しい発音を習得するのである。前歯部の状態からサ行の発音障害を起すことも少なくない。最近の国語授業では音読が少なくなったとか聞いている。欧米の学校では音読や発音教育はかなり大切にされている。乳歯から永久歯への交換期、永久歯列の完成期こそ舌や歯を使っての正しい発音、調音訓練ができる時期であり、歯科保健指導にもかかわる大切な領域であると考えている。

正しい日本語を話す訓練にもかかわっており、歯科保健指導が、ただ歯や口腔の病気に限定されないことを強調しておきたい。

生活習慣を身につける基礎としての歯科保健

小学校における歯科保健指導の内容が「むし歯」から「歯肉炎」へと広がってきた。このことは歯科保健指導の進歩である。

こども達が自分の口の中を観察して、口の中にある問題点を発見して、これを解決するために取り組む行動が重要なのである。保健指導がもつ意義は知識を増やすのではなく、生活の中へ実践を導入することにあるのである。ここでこのようなことを言うのは釈迦に説法で恐縮だが、正しい健康生活に入るきっかけとしての歯の保健指導の重要性を見逃してはならない。学校における保健指導は、どの切口から入るとしても、こども達のより高い健康生活を目指してのものなのである。

小学校における歯みがき指導

江東区立第二亀戸小学校 養護教諭 三 木 とみ子

1. 「小学校歯の保健指導の手引」改訂の主なポイント

- 1) 歯周疾患を取りあげ、「歯肉炎」の発見の仕方やその改善の仕方を示したこと。
- 2) 歯みがきの方法については、特定の方法に限定せず『歯みがきの基本』を示し、その基本を応用して自分のみがき方を発見させるようにし、自分の歯にあわせたみがき方を習得するようにしたこと。
- 3) 歯や歯肉の健康づくりは問題発見、問題解決学習を進めるようにしたこと。

歯の萌出や歯肉炎は、観察により自分で成長の喜びや問題の発見ができる。問題が発見できると、解決への意欲も湧き、自分で工夫して体験により確かめることができる。これらのことは、新しい学力観による歯の保健指導を進めることにもつながっている。

2. 学校で進める「歯みがき指導の基本」

① 歯ブラシの毛先を歯面に直角に当てる。

歯の汚れは、歯ブラシの毛先を歯面にまずもってぴたっとすきまなく当てることでとれる。

しかし、歯の面はどの歯も平らではなく「曲面」なので、歯ブラシの毛先を使い分け、毛先の部分

の特性を十分に生かしてみがく必要がある。

そのためには歯面を3つに分け歯ブラシの毛先の「全体」「わき」「つま先」「かかと」をうまく直角に当てるようにする。(右図参照)



② 軽い力でこきざみに動かす。

歯ブラシの毛先に力を入れて押しつけると、毛先が開いてしまい、毛先が有効に働かないので力を入れないことが大切である。

③ 歯ブラシの持ち方は自由に工夫する。

児童の歯ならびは、個々に違うので歯みがきは歯面にすきまなく毛先を当ててこすれる条件をつくることが何よりも大切である。したがって、歯ブラシの持ち方も、個々によって違うのが当然である。持ち方を特に指示せず、歯面に直角に当たる持ち方を自分で工夫し発見させることが大切である。(写真参照)

④ 新しく生えた歯を教材にして、自分のみがき方を習得する。

「小学校 歯の保健指導の手引」(表1)に各学年毎の平均萌出部位と歯みがきの到達目標が示されている。これを参考にして、自分のみがき方の目標をもたせるように指導する。

表1 発達段階に即した歯みがきの到達目標

学 年	平均的萌出部位	歯みがきの到達目標	疾患の特徴
小学校 1 学年	6 21 12 6	第一大臼歯のかみ合せ面がきれいにみがける。 (ぶくぶくうがいができる) (歯垢の染め出し、観察ができる) 前歯の外側がきれいにみがける。 (歯みがきの基本、歯ブラシの毛先の使い方がわかる)	第一大臼歯のむし歯
2 学年	6 1 1 6 6 21 12 6	前歯の内側がきれいにみがける。 (合せ鏡で歯の内側を観察できる)	"
3 学年	6 21 12 6 6 21 12 6	前歯の内側がきれいにみがける。 (合せ鏡で歯の内側を観察できる)	"
4 学年	6 4 21 1234 6 6 4321 1234 6	小白歯がきれいにみがける。 (上下、外内、かみ合せ面に歯ブラシの毛先が届く)	上の前歯のむし歯 不正咬合の顕在化 歯肉炎
5 学年	654321 123456 7654321 1234567	第一、第二大臼歯がきれいにみがける。 (上下、外内、かみ合せ面に歯ブラシの毛先が届く) 犬歯がきれいにみがける。 歯みがきで歯肉炎が改善できる。	上の前歯のむし歯 第二大臼歯のむし歯 歯肉炎
6 学年	7654321 1234567 7654321 1234567	すべての歯をきれいにみがくことができる。 歯みがきで歯肉炎が改善できる。	第二大臼歯のむし歯 歯肉炎
中学校 高 校	"	"	永久歯のむし歯 歯肉炎

歯ブラシのいろいろな持ち方の例



Q & A - 学校保健活性化のための -

Q 口臭の原因と予防について説明して下さい。

A 明海大学歯学部 教授 中尾 俊一

口臭の原因は、口腔衛生状態の悪い時や、むし歯や歯周病などの歯科的疾患に由来する場合がほとんどです。歯の治療をせずに放置し、噛むと痛いので噛まない場合は口腔内が汚れて不潔になりがちで、歯垢や歯石などが沈着して口臭を発する原因となります。

口腔内は無数の微生物が常在して、いつも不潔になる条件がそろっています。口腔内が微生物の繁殖に適する理由は、次のようなことによります。

1. 微生物の栄養素が豊富である。
2. 水分が多く温度が適当である。
3. 酸素も容易にとれる。
4. 歯と歯の間は嫌気性菌のよい発育場所である。
5. 唾液のpHは中性または弱アルカリ性である。
6. 光線が入ることが少なく、乾燥することがない。

口臭はほとんどの人にありますが、一般に起床直後や、また、加齢によって生理的口臭の程度も強くなる傾向にありますが、他人に不快感を与えるようなものではありません。

口臭の原因

1) 生理的口臭

生理的口臭には早朝時口臭、加齢による口臭、ストレス性口臭（緊張性口臭）などがあります。

2) 局所的な原因による口臭

口臭のほとんどはこの局所的な原因、口腔の不潔と歯科疾患によるものです。歯科疾患にはむし歯、歯周病、口内炎、智歯周囲炎、不適合な金属冠・充填物などがあります。不潔な口腔には歯垢や歯石がつき、口腔内の疾病からの腐敗臭、歯周ポケットなどが口臭の発生に大きく関与し、悪臭のある呼気を口腔から発散します。口臭の原因として舌苔の存在は無視できません。舌苔は、微生物、剝離上皮、白血球、食物残渣などからなっています。口腔内は一つの閉鎖された系として存在し、口腔内環境は多数の微生物と多数の細胞成分が蓄積する条件が備わっています。

3) 全身的な原因による口臭

全身に疾病や異常のある場合に口臭が認められることがあります。とくに口腔に隣接する組織、臓器ではその影響が強いといわれています。鼻咽頭疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、糖尿病などがあります。

4) 飲食物、嗜好物などの摂取後の口臭

ニンニク、ニラ、ネギ、ラッキョウなどの摂取や喫煙や飲酒後における生理的口臭などとの混在が考えられます。

5) 心因性口臭

本人のみが強く口臭の存在を感じ、自臭症とも呼ばれています。この心因性（精神的）口臭は本人だけが自覚し、他人には客観的にみてわからない口臭で、色々の悩み（工作上、家庭不和など）対人関係面での神経的愁訴で、口腔内にも全身的にもとくに医学的異常所見のないものです。

口臭の予防

口臭は口腔内に発生原因があるものがほとんどです。口腔内を不潔にせず、いつもきれいにしておくことが口臭の予防につながります。そのためには、むし歯の治療や歯周病の治療、歯石除去、不適合な金属冠などを除去して、よく噛める状態にすることです。

食事は規則正しく摂取し、よく噛み、食後の歯みがきにより口腔内をいつも清潔に保つことです。自分では歯を磨いているつもりでも実際には磨けていないことが多いのです。歯ブラシによる刷掃やフロスによる線掃で歯と歯の間の歯垢を除去することです。舌苔の除去も忘れてはなりません。全身疾患による場合はその治療をしなくてはなりません。心因性のものは専門医への紹介も必要となってきます。

北から南から

強く心に残る授業を出発点として

(むし歯予防推進指定校での実践)

岡山県井原市立青野小学校 教諭

小谷 彰 吾

本校は、平成3・4年度と文部省からむし歯予防推進校の指定を受け、研究を進めてきた。その核となるものは、授業であり学級経営である。何年もかけて身につけてきた生活習慣がそうたやすく変わるはずがない。したがって、私は授業のなかでいかに子供の意識に問いかけることができるか、どれだけ強く心にインパクトをあたえるかを大切にしている。その心へのゆさぶりこそが生活習慣を見直し、実践化への出発点になると思うからである。また、そのような場面で子供が自然に驚きや疑問の声を発したり、自分のこととして本音で話し合ったりできるように、日頃からお互いに認めあい、のびのびと力を発揮できる学級づくりを目指している。

以下、その実践の一部を報告する。

1. 「歯を大切にしよう」(学級活動)

歯は固くてじょうぶなもの、むし歯になっても死にはしない、という無関心な子供たちに、歯が酸に溶かされ、ナイフでボロボロと欠けてしまう実験をぶつけた。子供たちは驚き、「この酸が口の中のどこにあるのですか」と問いかけてきた。

2. 「病気の予防」(体育科保健)

成人病もむし歯も砂糖が主な原因となるので、実生活の中での砂糖量と20年後の余分な砂糖量を計算させた。そして、その平均的な数値、約200kgの実物の砂糖を目の前に提示し、持ち上げさせることで重さを体感させた。子供たちは、数字では見えなかった恐ろしいほどの砂糖量に目を丸くした。

3. 「歯みがきの歌をつくろう」(学級活動)

意識の高まりから今年は歯みがきのオリジナルソングを制作することになった。話し合いながらでき上がった歌には学級全員の名前と、むし歯予防に対してそれぞれが考えるところの目標が盛り込まれ、低学年の子供まで口ずさむほどになった。世界でたったひとつの自分たちの歯みがきソングの誕生であった。

自ら健康づくりに気づき、ねばりづよく実践する子どもを育てるには、どうしたらよいか

— 歯の保健指導を通して —

平成4年度むし歯予防推進指定校

長野市立鍋屋田小学校 の実践から

長野県教育委員会保健厚生課指導主事

滝澤 一 男

標記テーマ達成に向け、①一人ひとりの児童が自己をしっかり見つめ、自分のあり方を変えていく保健の指導過程の改善、②むし歯や歯肉炎の正しい知識の上になつて、歯みがきなどの実践活動の習慣化、③家庭・地域・学校歯科医との連携により、歯に対する知識や意識の高揚と実践活動の啓発、④子どものニーズにあった掲示・展示による保健環境の整備。以上4つの視点から仮説を設定し「研究指導部」「日常指導部」「地域・環境部」の各部会を組織し、教科、道徳、特別活動、学校行事等の全教育活動において、歯の保健指導を中核にした研究を進めてきた。この保健指導の根底には「自己の歯に思いをよせる心情」の育成をねらいとし、公開授業も学級活動だけでなく、教科(国語科、音楽科、家庭科)でも行った。

オペレッタ[®]でかけようすばらしい歯の国へ[®]は、子どもたちが歯の国を探検し、前歯や奥歯と語り合っていてその働きを知り、おやつ時間に侵入してきたミュータンス菌を歯ブラシで撃退するというストーリーであるが、3年1組の児童全員の自作自演で、全国からの参会者に大きな感動を与えた。

当校の実践研究には、歯科校医をはじめ市内の歯科医の先生方が各クラスを担当し、児童の口腔内写真の撮影、顎模型の作成、資料の提供等多大な協力をいただいた。

本年の鍋屋田小児童のむし歯状況は、WHOの目標とするDMF指数3.0をクリアし、1.1で年々減少傾向にある。これはいままでの地道な活動の積み重ねと、歯科医や家庭・地域の協力の現れである。

日本学校保健会だより

「エイズに関する指導の手引」の配布にあたって

(財)日本学校保健会「エイズ教育指導資料作成小委員会」(委員長 平山宗宏 日本総合愛育研究所長)において検討、作成されていた「エイズに関する指導の手引」が平成4年12月発行された。

この手引書は、昭和63年3月に発行されたものを全面改訂したものである。

以前のものは、いわゆるエイズパニックが起きていた時期であり、学術的にもエイズについてよく知られていなかったこと、学校においてはエイズという言葉を使っていじめなどがあったこと等から、エイズについて正しく理解するとともにエイズに対する不安を取り除くことに重点がおかれていた。

今回の改訂においては、エイズの予防方法の理解とエイズに起因する偏見や差別の払拭について一層の充実を図ったことが特徴といえよう。また、次のような視点で作成している。

エイズに関する指導の目標を、「人間尊重の精神に基づき、エイズの疾病概念、感染経路及び予防方法を正しく理解させ、エイズを予防する能力や態度を育てるとともに、エイズに対するいたずらな不安や偏見を払拭する。」ことにおいている。学校において指導すべきエイズに関する指導は、次のような領域が考えられる。

- ア エイズという感染症を理解するために必要な内容
- イ エイズを予防する能力や態度を育てるために必要な内容
- ウ エイズに関係した不安や偏見等に対し、的確な態度を取れるようにするために必要な内容。

エイズに関する指導は、健康教育の一環として、教育活動全体を通じての指導が必要である。また、エイズは、性的接触により感染する可能性が高いことなどから、性の問題はもちろん、患者等に対する

偏見・差別などの問題など、人間の在り方生き方と深いかわりをもっており、その問題は多岐にわたっている。そのため、学校の教育活動全体の中で、それぞれの教科、特別活動等の特性を生かしつつ、相互補完的に指導を進めていくことが必要であり、かつ、効果的である。

エイズに関する指導を体系的・組織的に実施するためには、それぞれの学校の実態に応じた全体的な指導計画が必要である。それは、エイズに関する指導内容が単に感染症という健康問題にとどまらず、偏見・差別などにかかわる広範な内容を含んでおり学校の教育活動全体で総合的に対処する必要があるからである。

また、教科、道徳、特別活動の内容は、学習指導要領に明示されている。しかし、これらの中には、エイズに関連する内容は示されているものの、特にエイズに関する指導が直接の内容としては示されていない。そのため、指導を計画的、継続的に行う必要がある。

この手引は、45万部作成され各学校に配布される。

第40回 日本学校保健学会ご案内

1. 期 日 平成5年11月25日(木)・26日(金)
2. 会 場 神奈川県横浜市中区山下町10番地
「ホテル・ホリディ・イン横浜」
「ホテルニューグランド」他関連施設
3. 内 容 21世紀へむけて日本国を背負ってゆく児童・生徒の健全な育成を目指して「小児成人病の問題」「AIDS(エイズ)予防教育のプログラム」「環境保全と環境教育の課題」「健康・医療問題における国際協力」「養護教諭職務の展開」「コンピュータの学校保健への適用」などの重要テーマをとりあげる。
4. 参加者 学識経験者・学校医・学校歯科医・学校薬剤師・養護教諭

虎の門(19)

「君達の資本は健康であることだ。」「女の子も針金みたいではだめだ。少しは丸く肉がつかなくてはな。」「給食も残さずに食べろ。私の分まで食べろ。」「誰にも負けない強い心と体をつくれ。」「絶対他人に迷惑だけはかけるなよ。」「頭が弱ければ体だけは強くしろ。」など、20数年前の懐かしい言葉を耳

にした。

過日の編集委員会の帰り、石井先生と別れ赤坂見附の階段を降り始めた時、突然両脇から女性に腕を取られたのである。やっとな階段を降りたが、心臓の高鳴りはなかなかおさまらない。「先生、だいじょうぶ? だいじょうぶになったみたいね。」と言われて、改めて顔を見

懐かしい言葉

て、またびっくり。回りを取り囲んだ5人の女性は、みんな教え子だったのである。

上福岡で途中下車して居酒屋へ。集まって来たのが17人。「俺たちに何時も言っていた健康はどうしたんだよ。」と、逆に返された言葉は、みんな懐かしい自分の言葉であった。
編集委員 壺井忠雄

発行 財日本学校保健会 村瀬 敏郎 〒105 東京都港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル 電話(3501)3785・0968 振替口座 東京4-98761 頒価1部100円(送料共)



アウソール ミッドソール 中敷
(ラバー) (衝撃吸収材) (ラバースポンジ)
三層式ソール

教育(呼吸・吸圧)シューズ

日本学校保健会推薦 No.817号

JESに学問を!

科学された教育(吸圧)シューズ!



日本教育シューズ協議会 TEL(0862)72-5463

目の健康と視力 その管理と指導

(財)日本学校保健会 編 ★A5判・160頁・定価950円(〒310)
視力についての正しい知識と適切な指導・管理が行えるよう、目のしくみや働き、近視予防等について平易に解説した手引書。

(財)日本学校保健会 編 ★A5判・86頁・定価900円(〒240)

日常生活の中で大切な役割を果たす平衡機能および関係の深い乗物酔いについて平易に解説。

姿勢・運動・乗物酔いと平衡機能 学校生活とからだのバランス

(財)日本学校保健会 編 ★A5判・128頁・定価1,080円(〒240)
学校現場での各種環境衛生活動について図・資料を豊富に用いて実践事例を紹介、環境改善を推進するためのわかりやすい手引書。

生き生きとした学校環境づくり 学校環境衛生活動事例集



第一法規 〒107 東京都港区南青山2-11-17
☎(03)404-2251/FAX(03)479-1747

※定価は税込みです。



試験紙でできる、尿中白血球検査。

集団検診項目に、尿中白血球反応を加えませんか?
尿路感染症スクリーニングも、その場で...

ライフステックス

エームス尿検査試験紙■潜血(A)、ブドウ糖、蛋白質、白血球

ネフロステックス-L

体外診断用医薬品

マイルス・三共株式会社
東京都中央区銀座1丁目9番7号

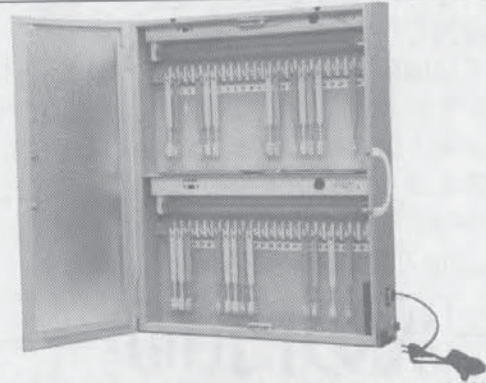
販売元:
三共株式会社
東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎(03)3562-0411



殺菌灯付き壁掛用(50本用) 歯ブラシボックス

- 扉を開けると殺菌灯が消える設計となっており、目には負担をかけません。
- タイマー内蔵方式ですので、殺菌終了後自動消灯するため歯ブラシなどをいためません。又、電気代も節約出来ます。

サイズ 50(W)×60(H)×9(D)cm
重量 4.5kg
材質 スチール製焼付け塗装、保護ラバー(下部コーナー2カ所)付き
殺菌灯 15W×2灯 100V 50~60Hz
扉の構造 観音開き、マグネットキャッチ式
希望小売価格 46,350円



企画・制作/ライオン株式会社 お問い合わせ・ご注文/〒130 東京都墨田区横網1-2-16 東誠ビル ☎03-3621-6261 (財)ライオン歯科衛生研究所

手を洗うと、殺菌・消毒も同時にできる!

シャボネット®石鹸液

多人数でお使いになるときは、連結式手洗い装置をご利用ください。

日本学校保健会 推せん品

サラヤ株式会社 ☎(06)797-2525

東京サラヤ株式会社 ☎(03)3472-1521